

日本発ヴェネト便り : Padova

Venezia から電車で約 30 分。同じくヴェネト州の Padova (パドヴァ) の街まで小旅行。
突然ですが、ヨーロッパ最古の総合大学はイタリアのボローニャ大学ってご存知でしたか？(創立が 1088 年) Padova は大学の街で、Padova 大学の歴史はボローニャ大学に続いて古く、創立が 1222 年。今でもイタリアを代表する名門大学の一つです。地動説を唱えた Nicolaus Copernicus (コペルニクス) はこの大学で学び、誰でも名前を知っている天文学者、Galileo Galilei (ガリレオ・ガリレイ) はこの大学の教授だったんですよ。
1678 年に、世界で初めて博士号を取った女性、Elena Lucrezia Cornaro が学んだのもこの大学。(大学構内には彼女の銅像がありました。) 学部の数かなりあって、校舎は街の中に点在しています。今回は見られませんが、学内のどこかに、Teatro Anatomico (テアトロ・アナトミコ : 解剖学劇場) と呼ばれる 1594 年に作られた世界最古の解剖学教室もあるそうです。
ちなみにこの大学の在校生だけで 40000 人！すごいですね。まあ、観光するには大学はあまり関係ないですけどね。☺

イタリアの街には「守護聖人」がいる(決まっている?) のですが、この Padova の守護聖人は St. Antonio。

そんなこんなで、この街の一番有名な教会は Basilica di S. Antonio (サンタントニオ聖堂) です。

イタリアには数えきれないほど教会がありますが、ここは「聖地」として有名で、一年を通して、イタリア中、ヨーロッパ中から熱心な信者さんが礼拝に訪れるのだそうです。



教会の外にはいくつも売店があって、絵葉書とかロウソク(お供え用ですね)とか売っています。(観光客向けというよりは信者さん向けという感じの品揃えでした。)

ロウソクは値段もデザインも色々です。大学の試験が近づくと、急にロウソクが売れるのだそうです。☺「神様仏様」って願掛けするのと似たような感覚ですかね。ただし、イタリアの大学は進級するにも卒業するにも試験は相当ハードで、容赦なく落とされるとのことで、大学卒業率は、なんと入学者の 35%程度とのことです。

あと Padova で絶対行くべし！なのが Cappella degli Scrovegni (スクロヴェーニ礼拝堂)。



スクロヴェーニ家の礼拝堂。銀行家(高利貸)だった亡父のためにエンリコ・スクロヴェーニが創立した礼拝堂で1305年に完成しています。(さんざん儲けた彼の父の罪滅ぼしの意味でしょうか?)

ここは事前の予約が必要です。というのも内部の絵を保護するため、温度・湿度が管理されている関係で、1回の入場は25人まで。時間は15分と制限されているのです。

こんな風に外観は地味というか普通の礼拝堂なんですけど、中に入って息が止まるくらいビックリというか圧倒されました。礼拝堂の壁面・天井がすべて Giotto (ジョット) の絵なんです。残念ながら、内部はもちろん写真撮影禁止+荷物はすべて預けなければなりません。

Giotto ってあの Giotto? ってよく分からない質問ですが、Firenze に行ったことある人なら、ピンと来るかもしれません。

そうです。Duomo (大聖堂) の横に立つ塔、これを設計したのが Giotto です。(Giotto ってずっと建築家だと思っていたんですが、画家でもあったんですね…)

壁画のテーマは「キリストの生涯」「マリアの生涯」と「最後の審判」で、順番に見ていくと、絵本のようにストーリーが分かるようになっています。(聖書を読んだことがあればもっと楽しめたかもしれません。)もう食い入るように一生懸命見てきました。☺

なんと表現して良いか分からないのですが、深みがあって、鮮やかで、光を発しているかのような「青」の色がとても独特で印象的でした。何でもこの色は現在の技術を駆使しても同じ色が創りだせない(=修復できない)のだそうで、それが温度・湿度が徹底的に管理されている理由の一つにもなっているようです。



この礼拝堂の Giotto の壁画。これを見るだけでも Padova を訪れる意義は十分あると思います。

あとはちょっと街の中を散歩。



広すぎて全体を写真に撮ることは無理なのですが、ここは Prato della Valle (プラート・デッラ・ヴァッレ) という 18 世紀に完成した、ヨーロッパ最大級の楕円形の広場です。中心が芝生の広場、その周りにお堀があって、さらにその周りが広場になっています。広場全体の広さはなんと 20,000 m² !



1931 年にムッソリーニがここで演説したときは 12 万人の人がこの広場に集まったのだそうです。今では散歩する人に、芝生に座ってのんびりおしゃべりする人。まさに市民の憩いの広場でした。毎週決まった曜日には広場の周りが市場になって、(行ってみたい!) 特に夏の間はこの広場で沢山イベントが開催されるようです。

実はこの Padova、世界文化遺産の街でもあるのです。(今回は行ってみる時間がありませんでした。) Orto botanico di Padova (植物園) 1545 年に世界で初めて、研究目的の大学付属施設として作られたのが、この植物園なんだそうです。イタリアで初めてジャガイモが栽培されたのがこの植物園です。

他にも宮殿やら美術館やら、見どころいっぱい Padova。
Venezia とセットで、是非お出かけください!